科目名	会社法 I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			総合政策学部	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Company Law I	開講年次	学部 □ 必修 □ 選択	
			開講期間	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年
ふりがな	みらはた ただよし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	道端 忠孝	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	現代社会において大きな役割を果たし、世界経済にも大きな影響力を有する大株式会社や中小株式会社の運営の基本を修得し、さらにその問題点を考えることができるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1、会社とは何か、株式会社の特質などの概要が理解できるようになる。 2、大会社の3つの組織形態の基本が理解できるようになる。 3、株式会社の運営組織（株主総会、取締役会、代表取締役、監査役等）の概要が理解できる。			
授業概要	授業では、下記授業計画に従い、上記授業目標達成に向けて、進めていく。理解を確認するために、授業中に、小テストをして、理解しているかどうかを確認しながら進めていく。			
授業計画				
第1回	ガイダンス、会社法の授業の概要、会社とは			
第2回	会社の種類とそれぞれの特質			
第3回	株式会社の意義・特質			
第4回	株式会社の機関、機関設置のルール、上場企業（大会社）の機関設計の3タイプ			
第5回	監査役の特権・責任、監査役会、会計監査人等；監査役会設置会社—イオンリテール(株)—			
第6回	指名委員会等設置会社の概要、各種委員会、執行役；フィデアホールディングス(株)・イオン(株)			
第7回	監査等委員会設置会社；秋田・北都・荘内・山形・岩手・東北銀行など			
第8回	株主総会とは、株主総会の招集手続			
第9回	株主提案権、議決権の行使、取締役の説明義務			
第10回	株主総会の決議と株主総会決議の瑕疵、株主優待制度			
第11回	取締役の職務と権限、資格・選任・員数・任期・辞任・解任、社外取締役等			
第12回	取締役会、その権限、招集手続、取締役会の決議			
第13回	代表取締役、その地位と権限			
第14回	取締役の義務、取締役の競業避止義務、利益相反取引、報酬等			
第15回	取締役（会）の内部統制システム構築義務、コーポレート・ガバナンス、サステナビリティ・ガバナンス、まとめ			
第16回	定期試験（小テスト型）			
授業時間外の学習	1. 授業前には教科書及び配布資料に必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。（1.5時間程度） 2. 授業開始前に、前回講義内容の確認テストを行います。前回講義の復習をしっかりと行ってください。（1.5時間程度） 3. 日頃から新聞などに目を通すようにしてください。（0.5時間程度）			
履修条件 受講のルール	・ポータルサイトで、資料を配布しますので、しっかり保管・保存してください。できるだけ、会社法Ⅱを履修するのが望ましい。			
テキスト	川井信之『手にとるようにわかる会社法入門』かんき出版			
参考文献・資料	六法。川村正幸『コア・テキスト会社法』新世社。その他は、必要に応じて講義時に紹介します。			
成績評価の方法	【小テスト(40%)、定期試験(60%)】以上の項目を基にして総合的に判断します。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に小テストを解答してもらい、提出してもらいます。この成績で、40%評価します。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・レポート課題は原則としてポータルサイトで指示します。 <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	・毎週火曜日 13：00～14：30、金曜日 14：40～16：10
成績評価基準	<p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	・就職時に役立つように、会社の運営組織や大会社の運営組織形態などについて理解を深めましょう。